

5月25日（土） 市役所

※会の中で紹介した意見と回答をまとめたものです。回答は一部要約しています。

※回答は、市政報告会実施日時点のものであり、現在の状況と異なる場合があります。

番号	1	意見	物価が上がり続け、実質賃金は減り続ける中で、子育て世代の生活は困窮している。子どもの健全な成長のために給食は欠かせず、教育の一環だと思うが、給食費が子育て世代の大きな負担になっている。 こども夢・チャレンジNo.1都市を目指す小牧市で、ぜひ学校給食を無償化して欲しい。
回答要旨	（市長） 給食費の無償化については、全国的に強い要望があり、小牧においてもそういう声は以前からいただいてきました。 しかし、優先順位の問題もあり、小牧では多子負担の軽減を先行して実施しています。具体的に言うと、3人以上のお子さんがあるご家庭については負担感が大きいと考え、3人目以降の小中学生の給食費をはじめに無償化しました。そして、現在は中学生の第2子の無償化までしていますが、第1子、そして小学生の第2子はまだ無償化ができていません。 全体の予算として約6億5000万から7億円程度、必要だという試算があり、大きな金額です。数年前からこの議論をしており、愛知県内でも、給食費を全て無償化している自治体が出てきています。私としては、小牧でも無償化したいと考えていますが、予算との兼ね合いがあり、簡単にはできないなと議論してきました。 保育料の無償化など、小牧が他の自治体よりも充実させている施策はあります。逆に、他の自治体が小牧よりも充実させている施策もあります。これは何を最優先にしているかによって違います。 私の理想としては、子どもにかかる費用は基本的に無償がいいと思っています。これからはどんどん子どもが減っていき、次の世代に負担がかかってきます。将来の社会は今の子どもたちが支えていくことになります。そのため、次の世代を育てるということは、社会全体で行っていく必要があります。子育てには様々な負担感がありますが、せめて経済的な負担については、子育て家庭だけではなく、社会全体で広く負担をしていくべきというのが私の基本的な考え方です。日本は世界と比べると、教育費に占める社会的支出が非常に低い国で、家庭の経済的負担が強い国です。 給食費の無償化は大賛成ですが、優先順位をつけ、順番に進めています。国でも給食無償化について議論を始めていますが、自治体の問題ではなく、全国的な問題として国が考えて、全国で無償化するのが公平とも思います。市の現在の財政状況では、すぐに全ての子どもの給食費を無償化することは難しいですが、国の議論を見守りながら、市として努力をし、できるならさらに無償化を進めたいと考えています。 物価高騰対策については、今年の1月から3月分を、国の物価高騰対策の補助金を活用し、無償にさせていただきました。しかし、4月分からは給食費払っていただいていますので、予算があれば無償化したいと考えているところです。		

番号	2	意見	通学路パトロールボランティアについて、村中小学校区では、今年度は2人で立っていますが、来年度、1人になってしまうことがとても心配です。学校とも相談し、どなたか探していただきたくお願いします。
回答要旨	(教育長) 通学路パトロールボランティアの今後についてですが、担っていただける方が不足してきているという声は、全16小学校区から届いています。 平成の時代から、不審者情報等への対応として、各地域の皆さんに通学路パトロールボランティアとしてご登録いただき、子どもたちのために、お力添えをいただいていたところですが、年々高齢化が進み、子どもたちと一緒に歩くことが体力的に厳しいといったお声も聞いています。そのため、例えば子どもたちが登校下校する時間帯に、ご自宅の前に出ていただいて、草取りをしながら、子どもたちを見守るだとか、畑の方に出ていただいて、見守っていただくというのも一つの方法だと思います。 しかし、それだけでは足りませんので、時間のある時にパトロールやボランティアに参加していただく方を募っていけるような体制づくりを教育委員会としても考えていきたいです。		

番号	3	意見	学校再編での通学距離について、説明では小学校は4キロ以内、中学校は6キロ以内を目安とし、通学バスの導入も検討しているとのことだったが、今現在、どの地区、どの学校でバスを検討しているのかを教えて欲しい。
回答要旨	(教育長) 通学バスの詳細については、現在は白紙の状態です。交通事情等にもよりますので、今後、再編を進める中で協議しながら、地域資源の活用も含めて通学バスの導入を検討していきます。 全国様々な事例もありますので、市の交通部局や道路部局とも十分に連携をとりながら、検討を深めていきたいと思っています。		

番号	4	意見	本日の新聞に70周年のロゴが決まった記事が載っていました。来年は市制70周年で様々なイベントがあるとも書いてありましたが、市民団体として何か参加できるイベントの企画はありますか。
回答要旨	(市長) 市制70周年ですが、ロゴマークを発表し、新聞にも掲載されました。 一般的にはデザイナーに頼んだりしますが、予算をかけずにロゴを作ろうということで、職員でやることとしました。職員に募集したら40作品ぐらい応募があり、このロゴに決定しましたので、活用していきたいと思っています。 70周年のイベントは、様々なことを今考えています。民間も含め、多くの方々から色々な声をいただいているので、それを精査をしているところです。そんな中で、まだはっきりと申し上げられませんが、市の事業だけではなく、民間の皆さんや市民団体の方、企業などと連携し、事業を行っていくと考えています。例えば市民団体からタイアップのご提案があれば、それについて協議をして一緒に事業をやらせていただくといったことも考えていますので、そういうご提案を広く募集しながらともに進めていければと思っています。 私としては周年記念は、これまでの先人のご努力や挑戦などの足跡を振り返りながら、この節目の年に今一度、自分たちのまちを見つめ直して、これからのまちづくりに向けて市民の心を一つにする、大事なポイントだと思います。		

番号	5	意見	先般、自動運転のバスに乗りました。少し未来を感じることができ、うれしく思ったところです。 今後の予定が決まっているのなら教えてください。楽しみにしています。
回答要旨	(市長) 今年の2月に実証実験を実施しましたが、今年度の冬にもう一度実証実験を行えるよう、事業者を選定しています。そして、もう一段レベルを上げることができればと思っています。 前は、レベルⅡで実施しましたが、完全自動運転は、日本では法規制などがあり、ハードル高いなということを改めて思いました。しかし実施したことでわかることもあり、市民の皆さんに受け入れていただけるかや信号・交差点と歩行者・自転車との関係、周りの車のドライバーへのストレスなど、様々な事を調査させていただきました。結果は好意的な意見が多かったです。今年度行う実証実験でも、皆さんにまたご乗車いただき、ご感想をいただければありがたいです。 巡回バスについても様々なご意見をいただいておりますが、小牧市では23コース走らせていて、これは全国的にみても充実しています。ただ、今運転手さんが高齢になっていて人手不足です。様々なご意見をいただいているところですが、今より充実させるということよりは、何とか現状を維持しなければいけない状況ですので、皆さんのご意見もいただきながら、皆さんの生活をよくできるように努力していきたいと思ひます。 早く自動運転になると、運転手不足の問題も解消するのではないかなと期待しています。		

番号	6	意見	小牧駅付近は図書館や未来館ができ、随分人が多くなったように思ひます。特に西側は活気やにぎわいが出たように思ひます。 一方でピーチライナーの取り壊しが進んでいる東側は、今後どうなりますか。
回答要旨	(市長) 駅の西側は、図書館とこども未来館、多世代交流プラザそしてにぎわい広場と、少しずつ活性化をしてくています。 今後は、週末にキッチンカーを出したりして、市民の皆さんとともににぎわい創出に取り組んでいきたいと思ひています。 駅から東側の計画もありますが、まだ確定したわけではなく、バス・タクシー乗り場や公園、飲食店などを含めて、民間の意見も聞きながら、皆さんの憩いの場、そしてにぎわいのある場所にしていきたいと思ひています。		